

- ① 相談（健康面、経済面、家族関係、介護保険、話し相手など）
- ② 家事（炊事、洗濯、掃除）
- ③ ゴミ出し
- ④ 庭の手入れなど
- ⑤ 買い物
- ⑥ 通院
- ⑦ 親の介助や介護
- ⑧ 金銭管理
- ⑨ 終活（身辺整理、家、土地など）
- ⑩ 子育て（学校関係、躰について、不登校、ヤングケアラーなど）
- ⑪ 緊急時の対応
- ⑫ 災害発生時の対応
- その他（自由記載欄）

（ ）の買い物は誰がしていますか。（該当番号に○、複数回答可）
 ① 自分 ② 家族・親族 ③ 知人・友人 ④ その他（ ）

令和6年度第1回
 よこすか地域支え合い協議会
 資料 5 - 1
 令和6年9月18日（水）



「お住まいの地域における支え合い状況」 アンケート結果

2024-07-04

久里浜地域支え合い協議会

支え合い協議会では「より暮らしやすい地域」を目指し、困りごとなどに向けて「住民、地域、市」と連携して取り組んでいきたいと考えています。みなさまの日常の様子や地域の状況などをお聞かせ頂き、「支え合える地域づくり」に参考とさせていただき、アンケート調査を実施します。

【対象】久里浜地区連合町内会・自治会会員の全世帯の皆さまです。今後の地域活動の進め方の基礎資料として活用させていただきます。

【回答方法】下記（1）、（2）いずれかひとつで回答してください

- （1）アンケート用紙に記入して、各町内会長・自治会長に提出してください。
- （2）「スマートフォン、タブレット回答」⇒QRコードをご利用ください。



注）（2）で回答した場合、アンケート用紙の提出は不要です。

年末、年始の多忙な時期のお願いで大変恐縮ですが、上記の目的をご理解いただき、ぜひ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
 アンケートの集計・分析結果は、後日、お住まいの各町内会長・自治会長に報告いたします。

——アンケートにお答えください——

1. このアンケートの記入者の年齢を教えてください。（該当番号に○）
 ① 30歳未満 ② 30歳～50歳未満 ③ 50歳～75歳未満 ④ 75歳以上
2. あなたの世帯の年齢構成について教えてください。（該当箇所に入数を記入）
 3 0歳～14歳（ ）人 ② 15歳～64歳（ ）人 ③ 65歳以上（ ）人
3. 隣り近所の方との付き合いがありますか。（該当する方に○）
 【設問】 ある（Aへ行く） ない（Bへ行く）

「お住まいの地域における支え合い状況アンケート調査」結果報告

<目 的>

久里浜地域支え合い協議会では「より暮らしやすい地域」を目指し、困り事などの発見から解決に向けて「住民、地域、市」と連携して取り組んでいきたいと考えています。そこで住民のみなさまの日頃の様子や地域の状況などをお聞かせ頂き、「支え合える地域づくり」の参考とさせていただくため久里浜行政管内29町内会・自治会会員世帯にアンケート調査を実施しました。

<久里浜地域支え合い協議会>

横須賀市は「生活支援体制整備事業（平成27年度の介護保険法の改正により始まった）」として、高齢者を支援する多様な関係者が参加し、協力体制を築きながら高齢者を支える仕組みを検討・構築してゆくことを推進し方向付けを行う地域協議会組織です。久里浜地域支え合い協議会は、大津、追浜、田浦、浦賀、北下浦について6番目の平成31年(2019年)4月22日に設立しました。

参画組織は、久里浜地区社会福祉協議会、久里浜地区連合町内会、久里浜第1地区民生委員児童委員協議会、久里浜第2地区民生委員児童委員協議会、久里浜地区老人クラブ、久里浜地域包括支援センターの構成員9名と、横須賀市社会福祉協議会、久里浜行政センター、横須賀市民生局福祉こども部福祉総務課地域力推進係のオブザーバー5名の総員14名で活動しています。

<目次>

・ 目的・概要-----	1-6
・ 久里浜地域にお住まいの方の支え合いに関するアンケート集計結果(全体)-----	7
・ アンケート回収率&回答件数(町内会・自治会別)-----	8
・ 1. アンケート記入者(年齢別) 2. アンケート記入者世帯の年齢構成-----	9
・ 3. 隣り近所の方との付き合いがありますか 困りごとを頼みやすいですか-----	10
・ 4. 日常生活の中での困り事&心配事-----	11
・ 5. 日常生活の買い物は-----	12
・ 6. 困りごとを支えてくれる(助けてくれる)地域住民の団体があつたらいいと思いますか-	12
・ 7. お住まいの地域で開催・実施してほしいものはありますか-----	13
・ アンケート記入者の年齢層別集計結果 1 -----	14
・ アンケート記入者の年齢層別集計結果 2 -----	15
・ 回答アンケートから確認できる世帯人数推移と回答方法の推移-----	16
・ 8. 自由記載欄及びその他記載欄-----	17-18
・ 横須賀市(久里浜地域支え合いについて) 参考-----	19-24

＜調査概要＞

- ・調査実施期間: 令和5年(2023年)12月10日～令和6年(2024年)3月29日
- ・調査対象: 久里浜地区連合町内会・自治会会員 全世帯(16,629世帯)
- ・調査方法: 各町内会・自治会定例会で各世帯数のアンケート用紙を配布
- ・回答方式: アンケート用紙に回答またはQRコード入力回答＜無記名式＞
- ・回答結果: 7,842件(用紙回答5,536件、QRコード回答2,306件)回答率47%

＜本件に関する照会先＞

久里浜地域支え合い協議会 事務局

久里浜地域包括支援センター 金子 (046-843-3112)

久里浜地域にお住まいの方の 支え合いに関するアンケート用紙(表)

久里浜地区町内会
自治会加入者

16,629世帯に配布

「お住まいの地域における支え合い状況」アンケートのお願い

令和5年12月7日
久里浜地域支え合い協議会

【目的】久里浜地域支え合い協議会では「より暮らしやすい地域」を目指し、困りごとなどの発見から解決に向けて「住民、地域、市」と連携して取り組んでいきたいと考えています。そこで住民のみなさまの日頃の様子や地域の状況などをお聞かせ頂き、「支え合える地域づくり」の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施します。

【調査対象】久里浜地区連合町内会・自治会会員の全世帯の皆さまです。今後の地域活動の進め方の基礎資料として活用させていただきます。

【回答方法】下記(1)、(2)いずれかひとつで回答してください

- (1) アンケート用紙に記入して、各町内会長・自治会長に提出してください。
- (2) 「スマートフォン、タブレット回答」⇒QRコードをご利用ください。



注) (2)で回答した場合、アンケート用紙の提出は不要です。

年末、年始の多忙な時期のお願いで大変恐縮ですが、上記の目的をご理解いただき、ぜひ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

アンケートの集計・分析結果は、後日、お住まいの各町内会長・自治会長に報告いたします。

—————アンケートにお答えください—————

1. このアンケートの記入者の年齢を教えてください。(該当番号に○)
① 30歳未満 ② 30歳～50歳未満 ③ 50歳～75歳未満 ④ 75歳以上
2. あなたの世帯の年齢構成について教えてください。(該当箇所人数を記入)
3 0歳～14歳(人) ② 15歳～64歳(人) ③ 65歳以上(人)
3. 隣り近所の方との付き合いがありますか。(該当する方に○)
【設問】 ある(Aへ行く) ない(Bへ行く)

A. (設問で、ある と答えた方) 困りごとを頼みやすいですか。
イ) 頼みやすい ロ) 頼みにくい

B. (設問で、ない と答えた方) 今後、付き合いを持ちたいと思いますか。
イ) 思います ロ) 思いません

裏面も回答項目があります。 よろしくをお願いします。

久里浜地域にお住まいの方の 支え合いに関するアンケート用紙(裏)

回答数 7,842件

7,842/16,629
(47%)

ありがとうございました！

4. 日常生活の中で、どのような困り事もしくは心配事がありますか。

(該当番号に○、複数回答可)

- ① 相談(健康面、経済面、家族関係、介護保険、話し相手など)
- ② 家事(炊事、洗濯、掃除)
- ③ ゴミ出し
- ④ 庭の手入れなど
- ⑤ 買い物
- ⑥ 通院
- ⑦ 親の介助や介護
- ⑧ 金銭管理
- ⑨ 終活(身辺整理、家、土地など)
- ⑩ 子育て(学校関係、塾について、不登校、ヤングケアラーなど)
- ⑪ 緊急時の対応
- ⑫ 災害発生時の対応
- ⑬ その他(自由記載欄)

5. 日常生活(食料など)の買い物は誰がしていますか。(該当番号に○、複数回答可)

- ① 自分 ② 家族・親族 ③ 知人・友人 ④ その他(ヘルパー等)

6. 自分の町内に、困りごとを支えてくれる(助けてくれる)地域住民の団体が
あったら良いと思いますか。(該当番号に○)

- ① はい ② いいえ ③ すでにある

7. お住まいの地域で開催・実施してほしいものはありますか?

(該当番号に○、複数回答可)

- ① 町内行事(お祭り、子ども会、老人会、運動会、クリスマス会、餅つきなど)
- ② ラジオ体操、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ボッチャ、歩こう会など
- ③ 囲碁、将棋、麻雀、カラオケ
- ④ 茶話会(サロン)
- ⑤ パソコン・スマホ指導
- ⑥ 子育てサロン、子ども食堂、子どもの短期預かりなど
- ⑦ その他(自由記載欄)

8. 自由記載欄(感想、意見、要望、問題点など)

ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙は、久里浜地域支え合い協議会で集計後に焼却処分させていただきます。

久里浜地域にお住まいの方の支え合いに関するアンケート集計結果(全体)

◆ アンケート回答（登録）件数（全体の目視化）

*データは久里浜29町内会16,629世帯に配布の結果です

7,842	件	町内会加入数	16,629	世帯
		回答率	47%	

1. アンケート記入者の年齢別入力件数（全体）

①30歳未満	②30歳～50歳	③50歳～75歳	④75歳以上
77	1,591	3,671	2,443

2. アンケート記入者世帯の年齢構成（人数）

0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
2,305	10,019	6,898

1人暮らし世帯数	1,395	2人暮らし世帯数	2,529
3人暮らし世帯数	1,253	4人以上の世帯数	1,497

上記数値は八幡町内会（紙データ）除く

3. 隣り近所との付き合いがありますか

ある（件数） 5,535	➤	A: 困りごとを頼みやすいですか	
		頼みやすい	頼みにくい
ない（件数） 2,156	➤	B: 今後付き合いを持ちたいと思いますか	
		思います	思いません

4. 日常生活の中での困り事&心配事（ベスト3）



5. 日常生活（食料など）の買い物は誰がしていますか

自分	家族・親族	知人・友人	その他
6,838	3,360	46	69

6. 町内に困りごとを支えてくれる地域住民の団体あったらいいですか

はい	いいえ	すでにある
5,227	759	1,268

7. お住まいの地域で開催・実施してほしいものがありますか（ベスト3）

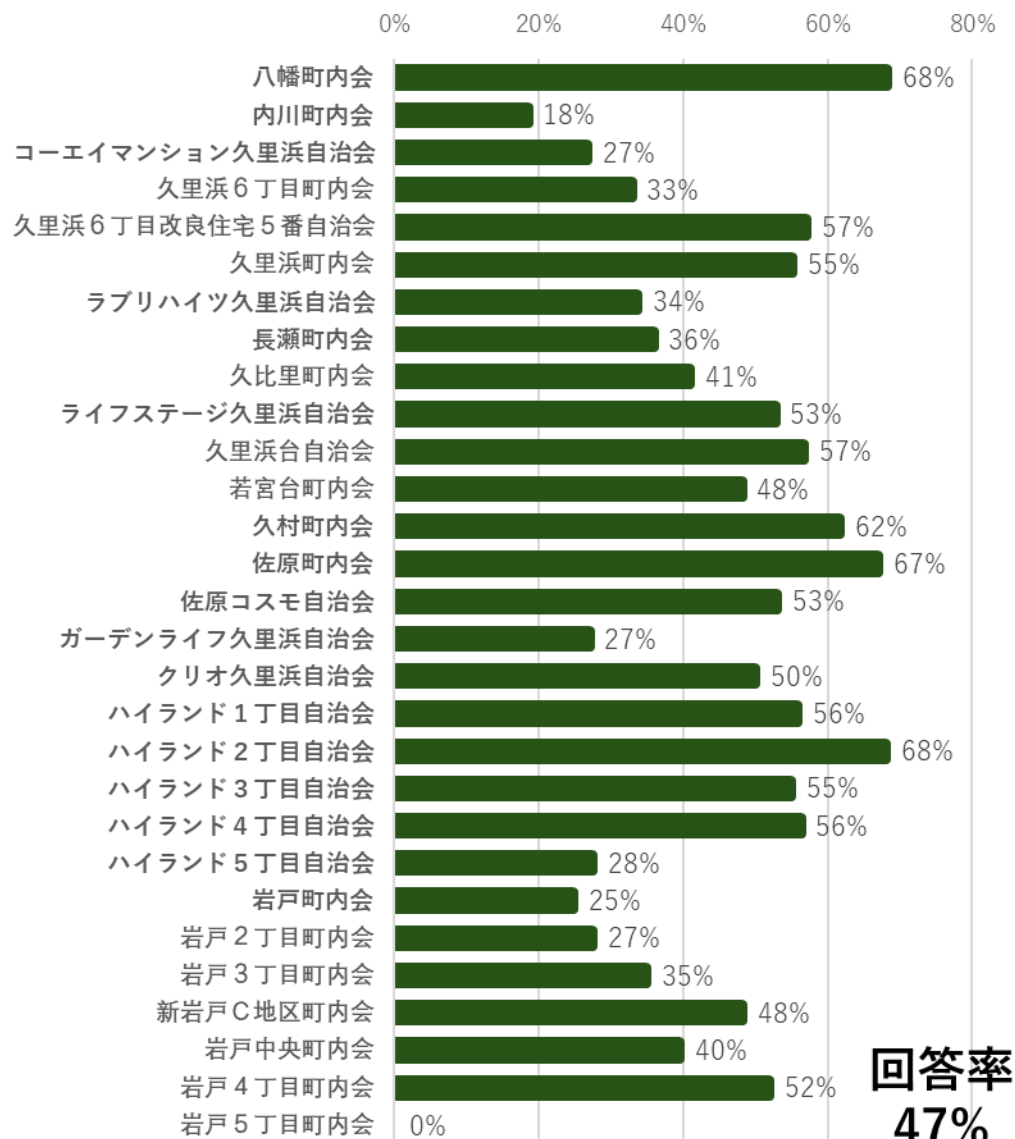


8. 自由記載欄（感想・意見・要望・問題点など）件数

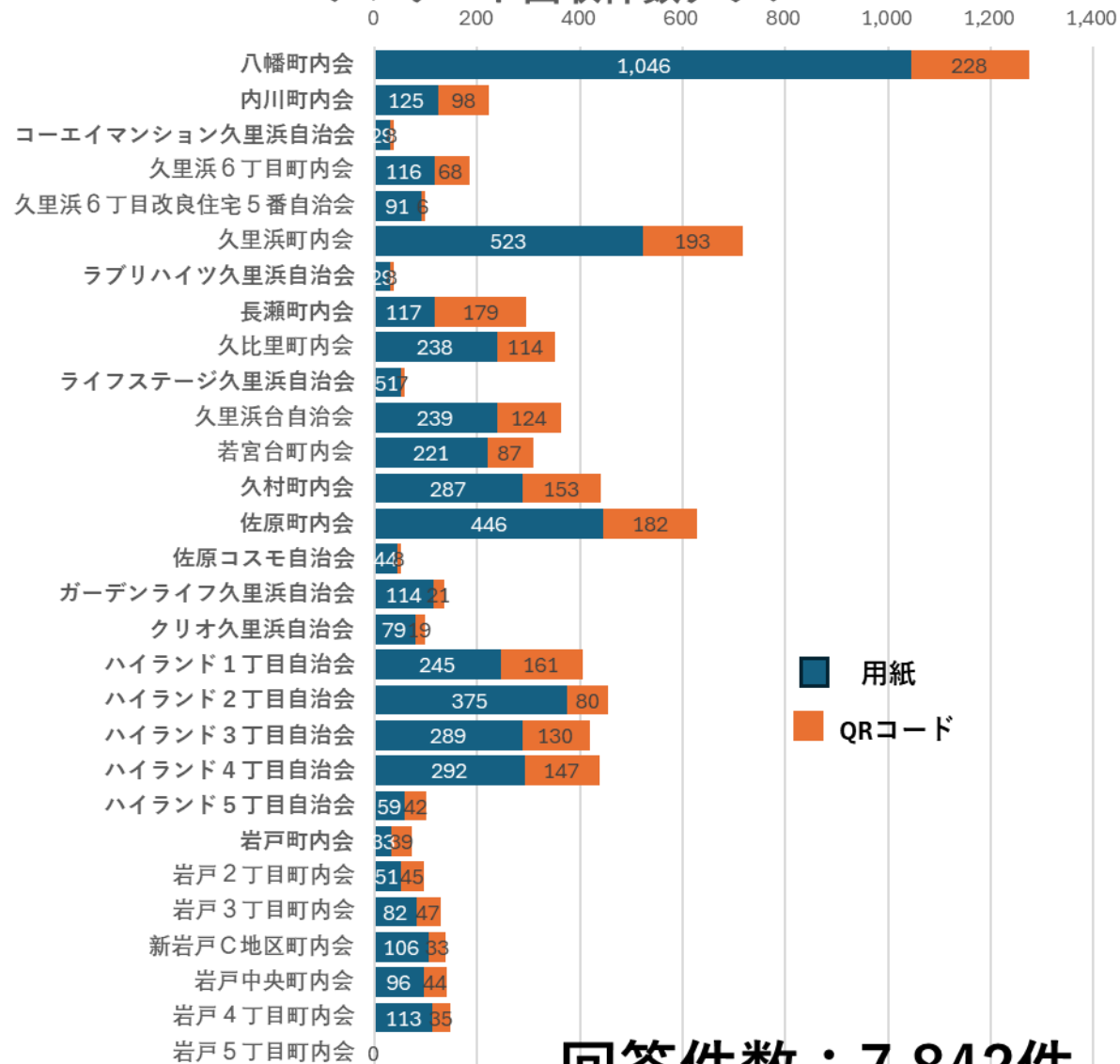
自由記載件数	紙による回答	QRコード回答
1,202	5,536	2,306

アンケート回収率&回答件数（町内会・自治会別）

アンケート回収率グラフ



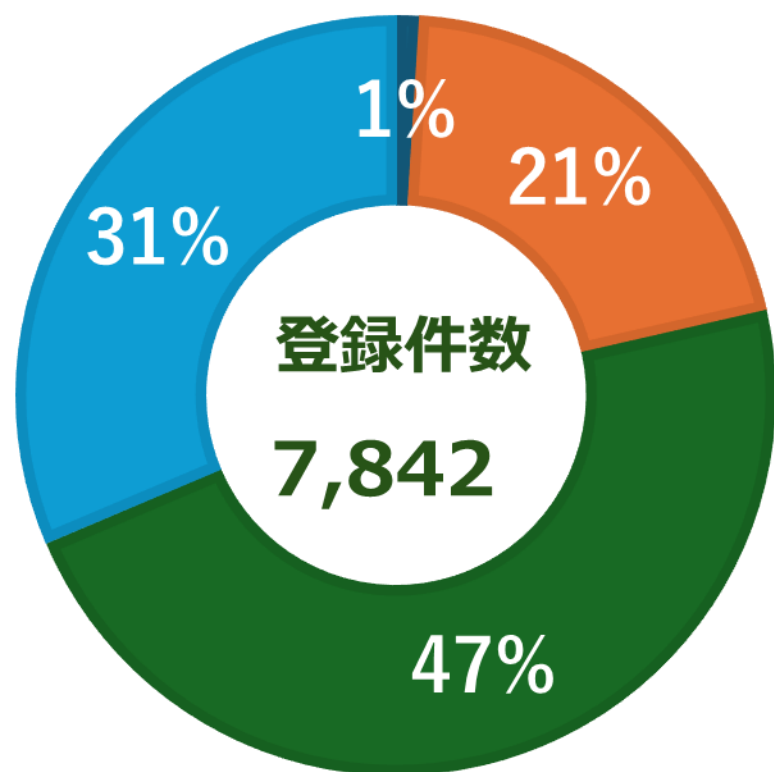
アンケート回収件数グラフ



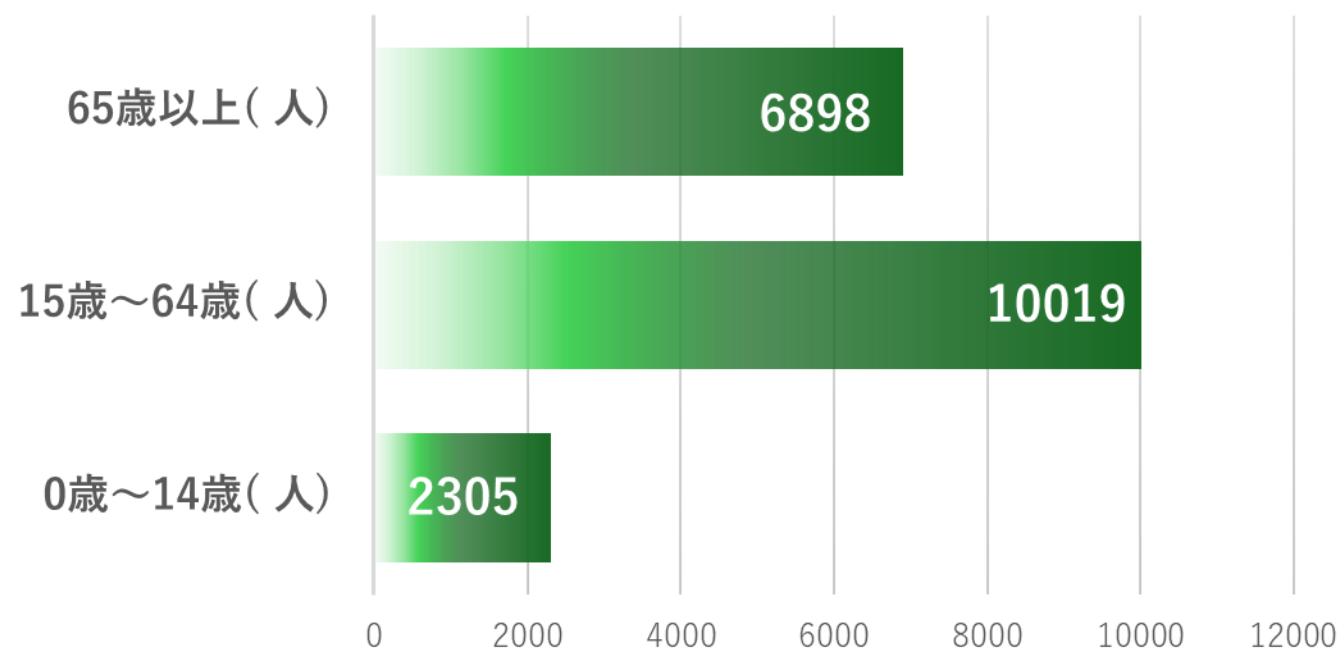
回答件数：7,842件

1. アンケート記入者（年齢別）

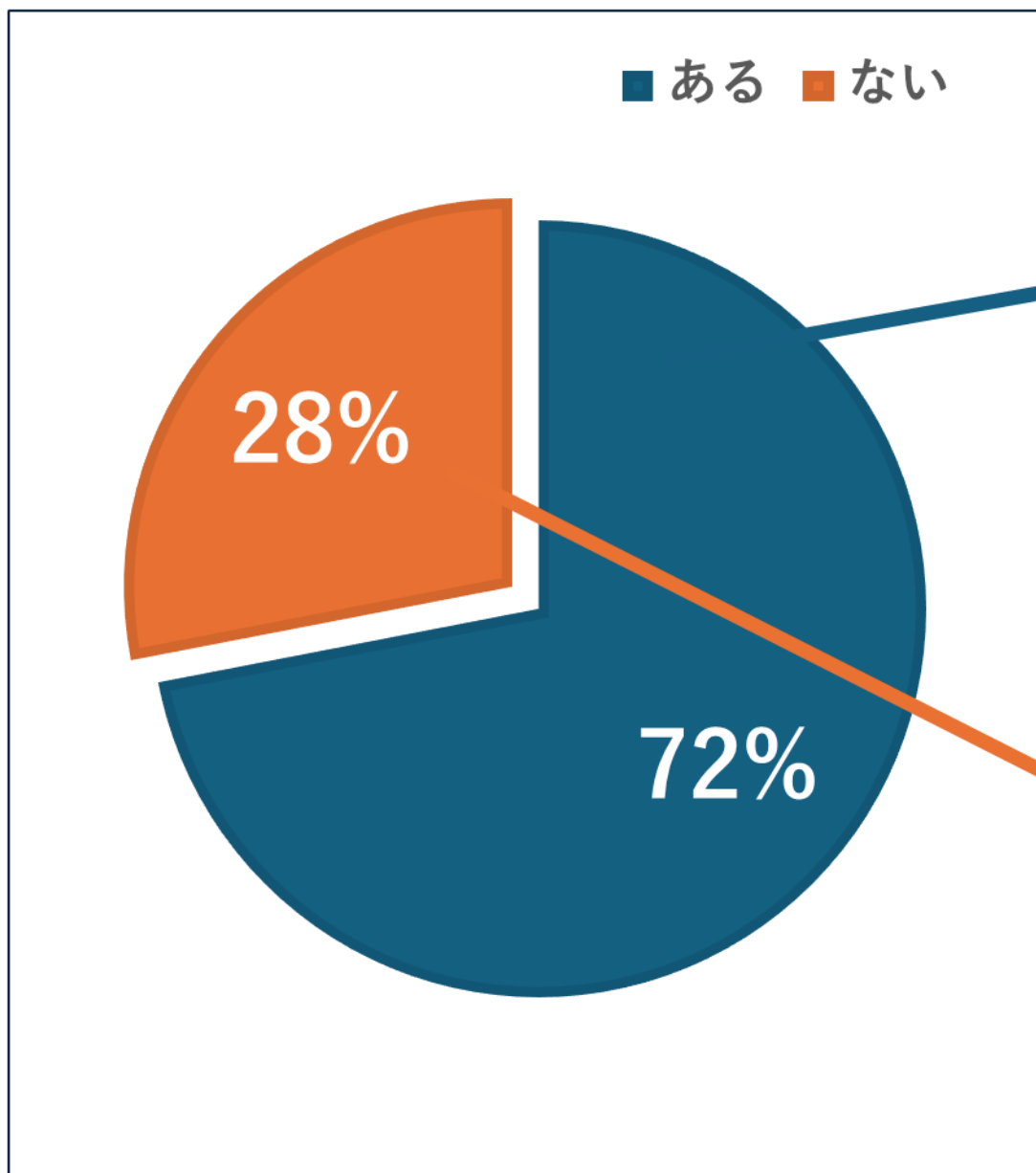
- 30歳未満
- 30歳～50歳未満
- 50歳～75歳未満
- 75歳以上



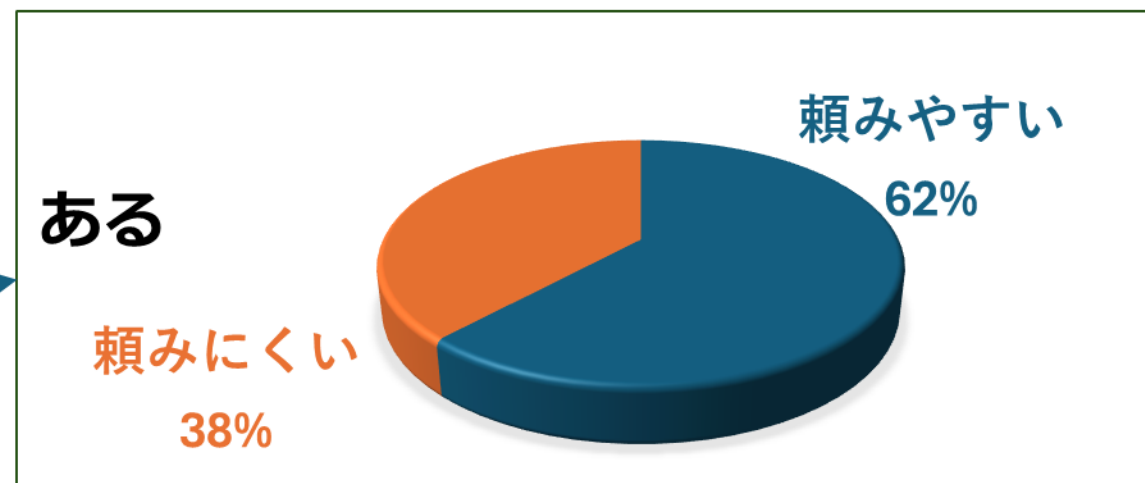
2. アンケート記入者世帯の年齢構成



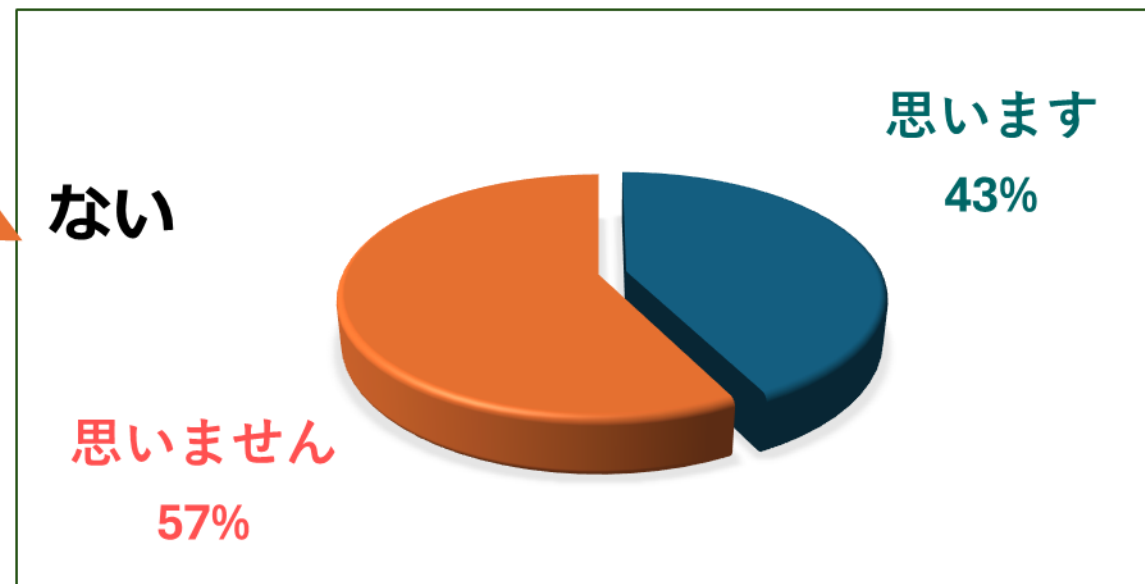
3. 隣り近所の方との付き合いがありますか



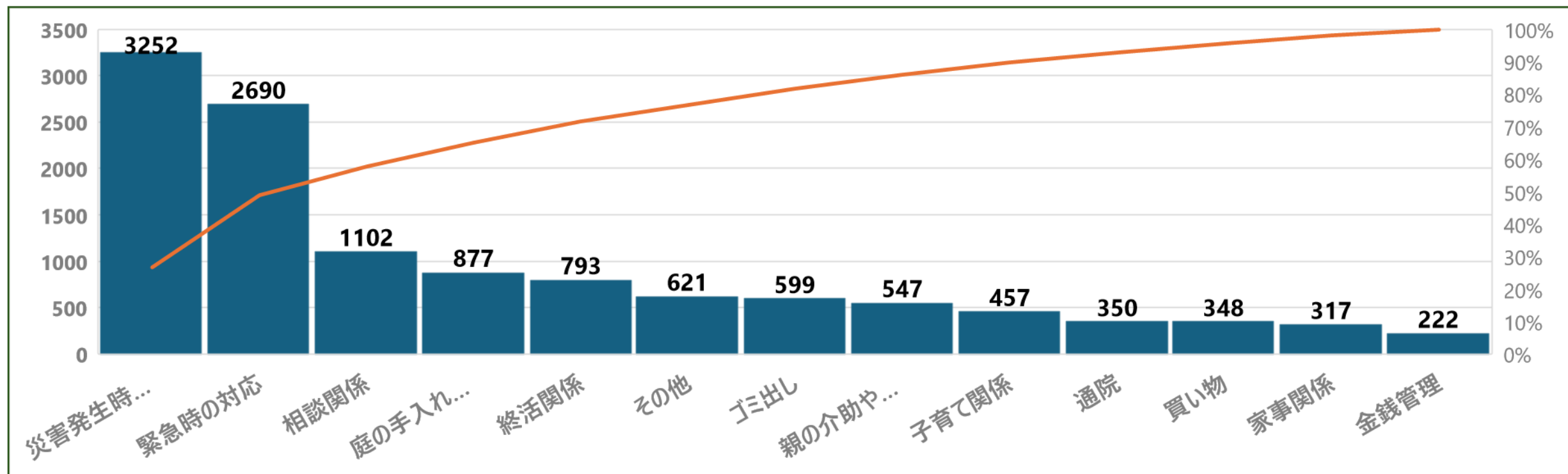
困りごとを頼みやすいですか



付き合いを持ちたいと思いますか



4. 日常生活の中での困り事&心配事



①相談（健康面、経済面、家族関係、介護保険、話し相手など）

②家事（炊事、洗濯、掃除）

③ゴミ出し

④庭の手入れなど

⑤買い物

⑥通院

⑦親の介助や介護

⑧金銭管理

⑨終活（身辺整理、家、土地など）

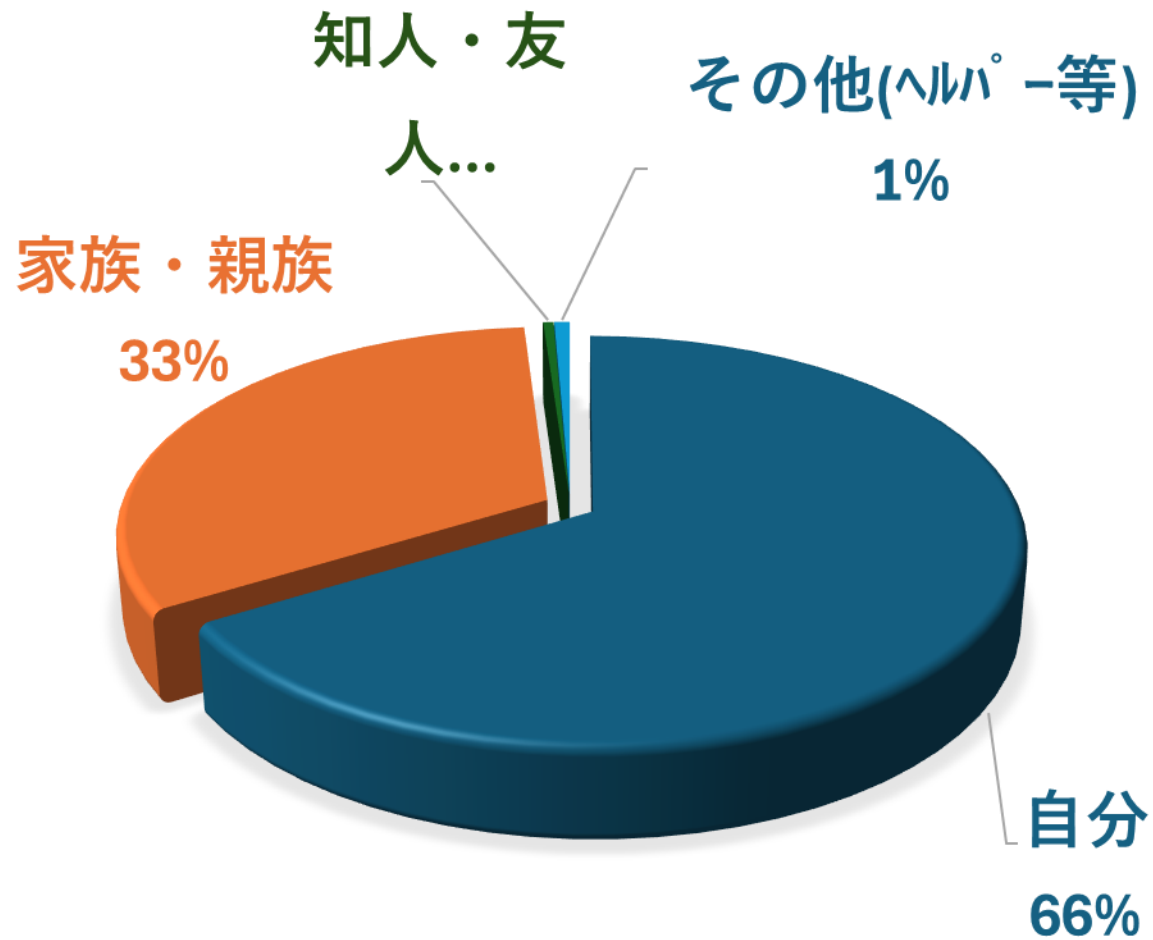
⑩子育て（学校関係、躾について、不登校、ヤングケアラーなど）

⑪緊急時の対応

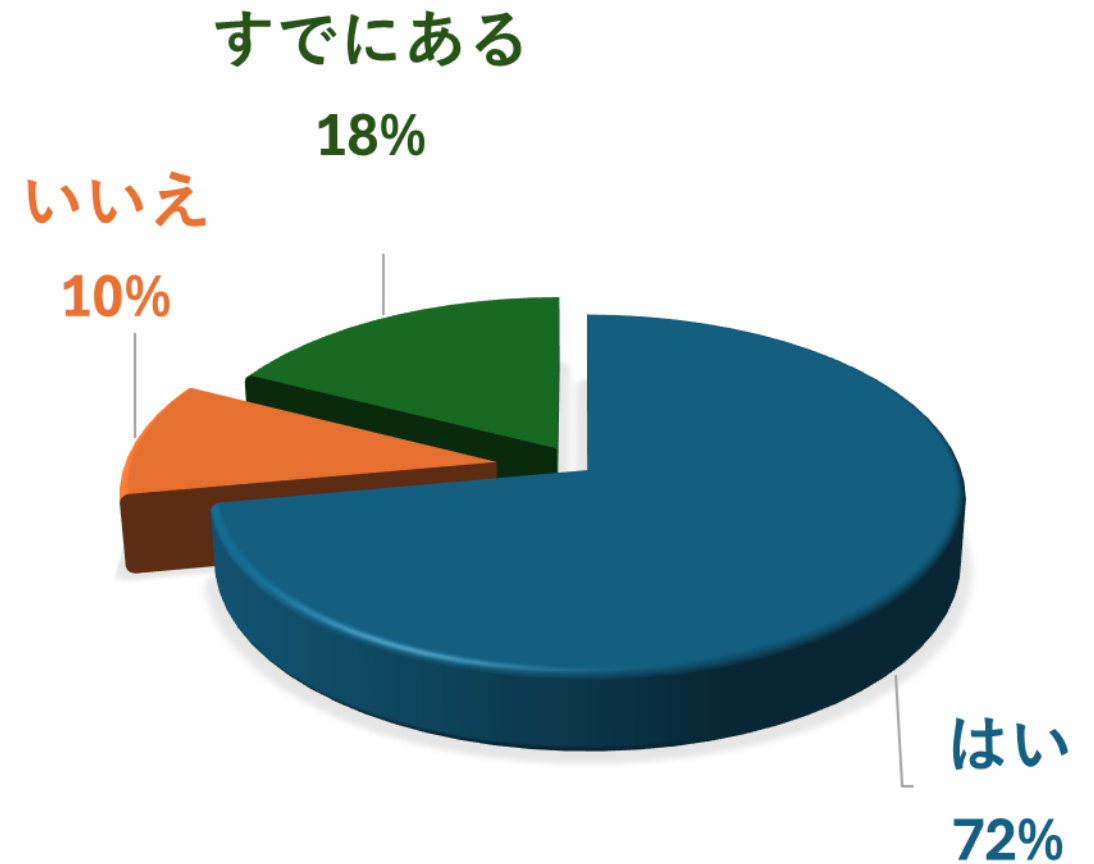
⑫災害発生時の対応

⑬その他

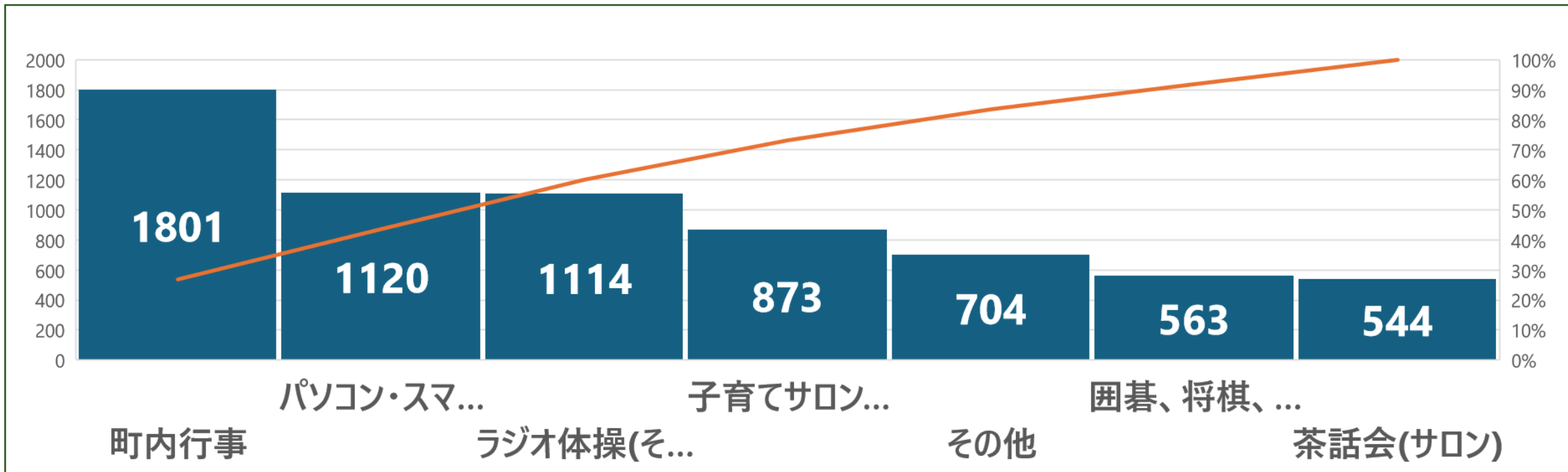
5. 日常生活の買い物は



6. 困りごとを支えてくれる（助けてくれる） 地域住民の団体があったらいいと思いますか

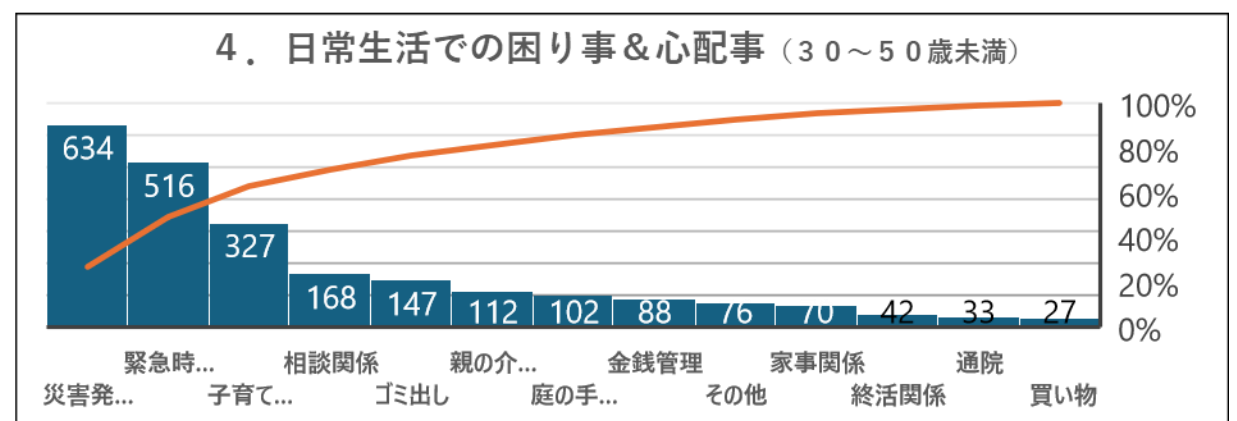
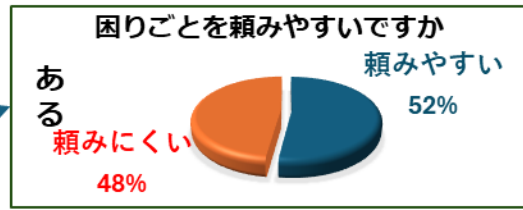
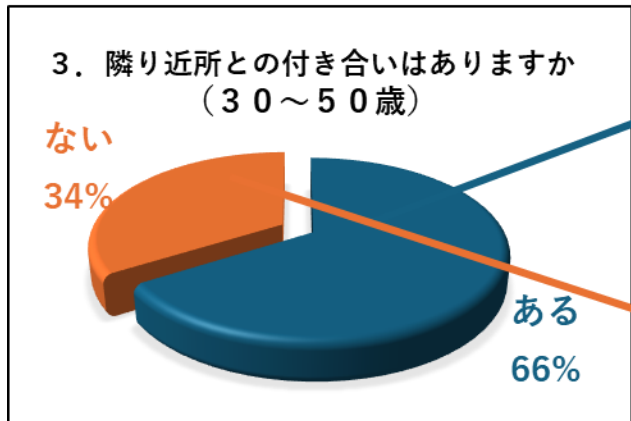
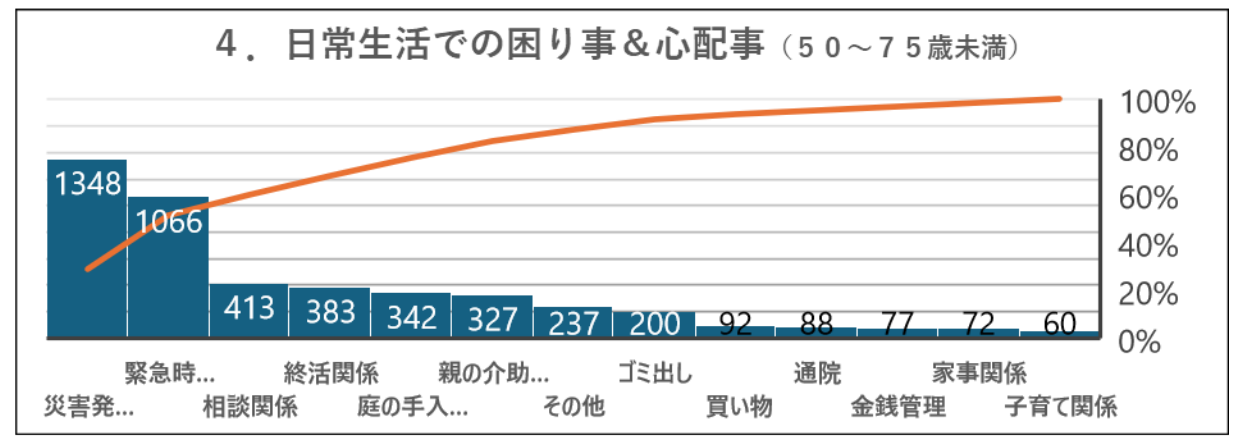
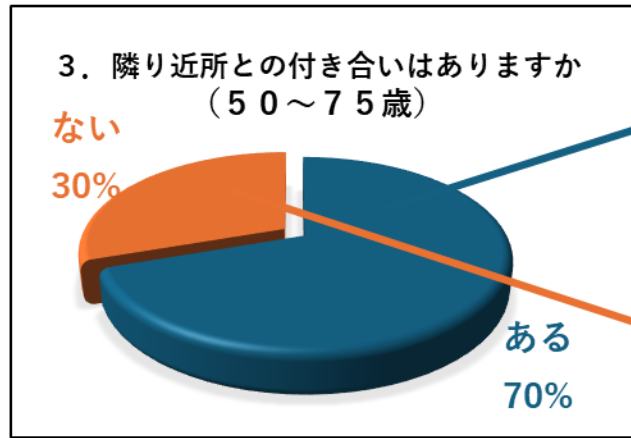
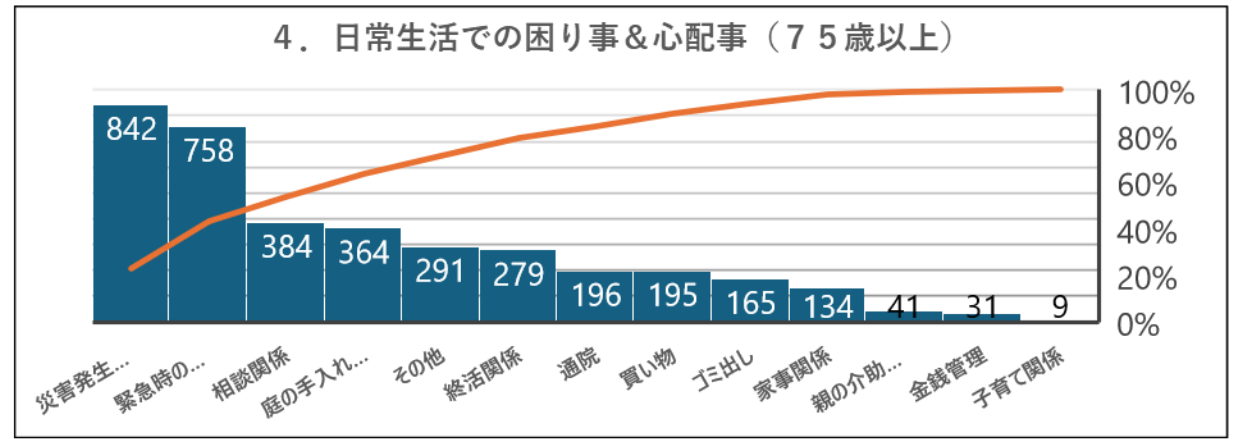
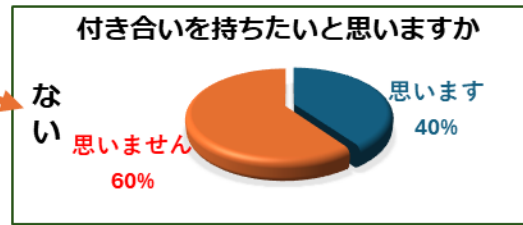
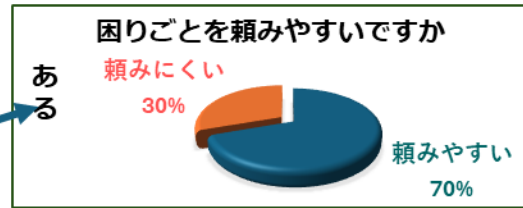
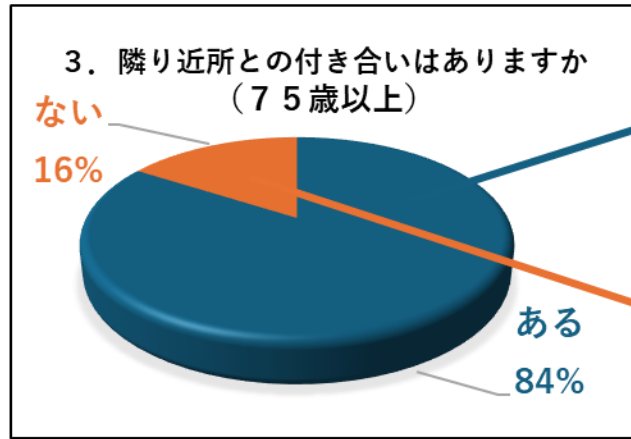


7. お住まいの地域で開催・実施してほしいものはありますか

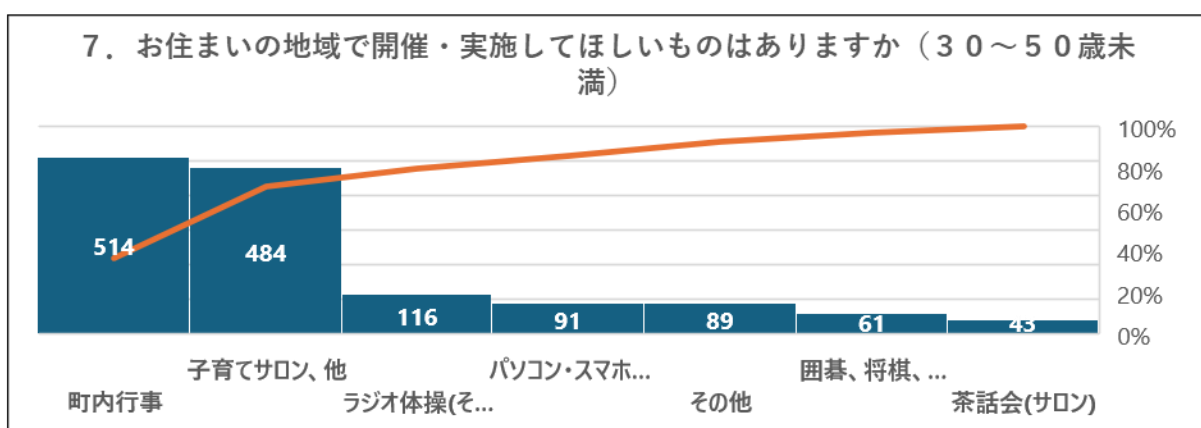
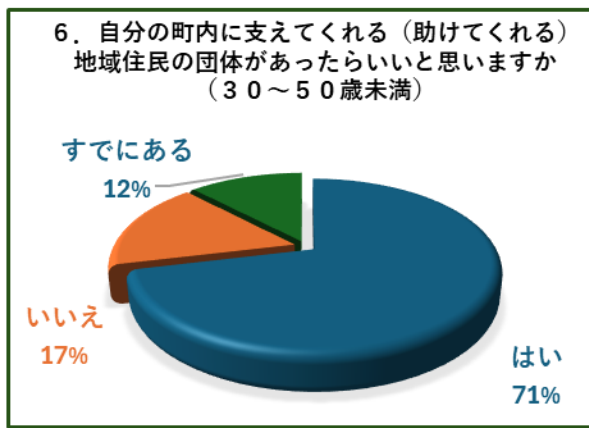
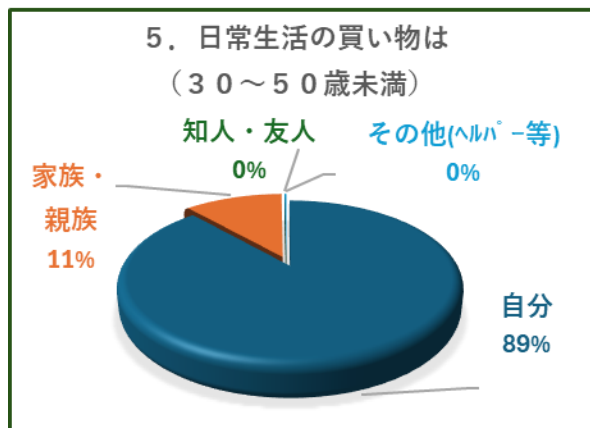
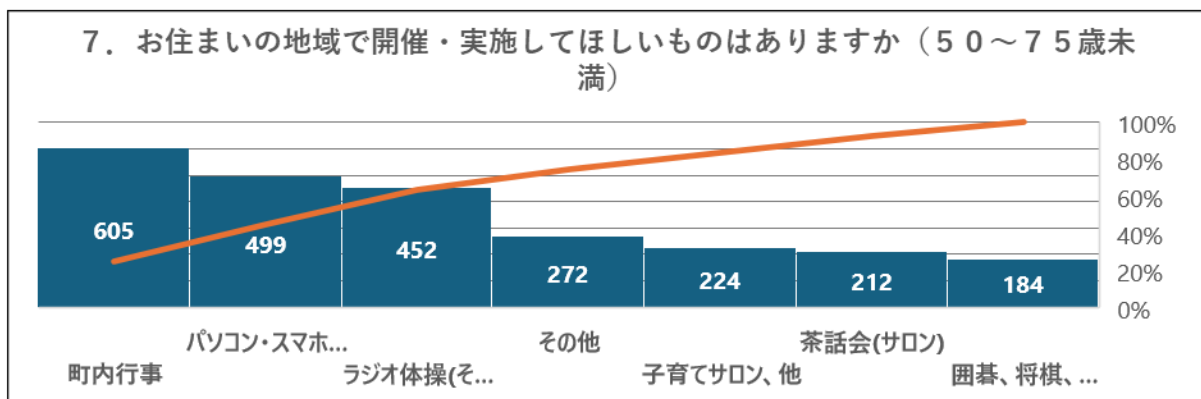
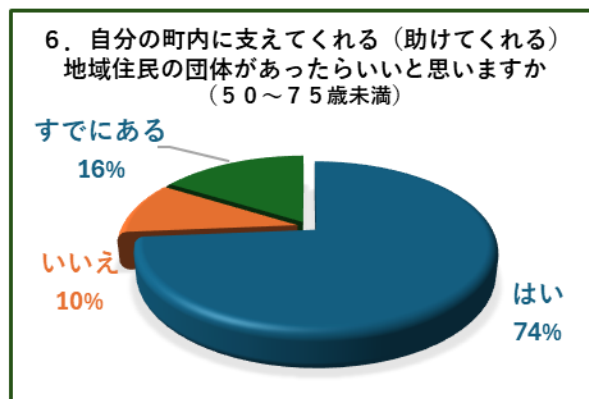
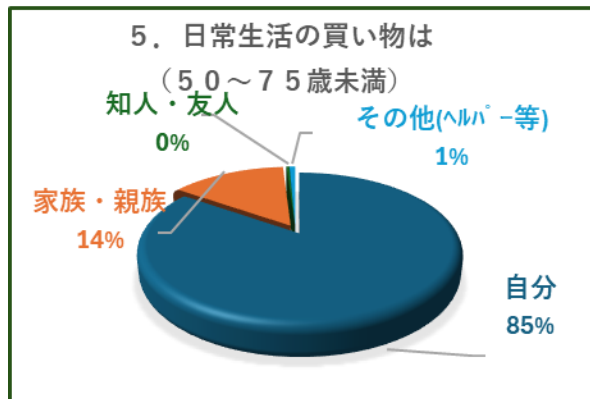
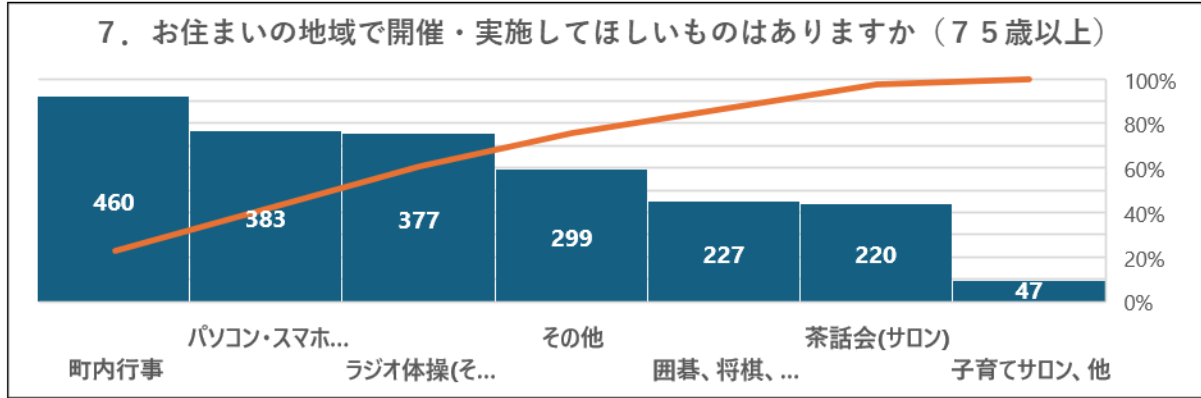
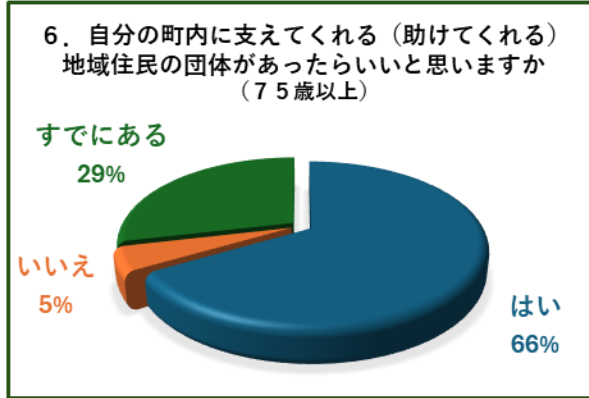
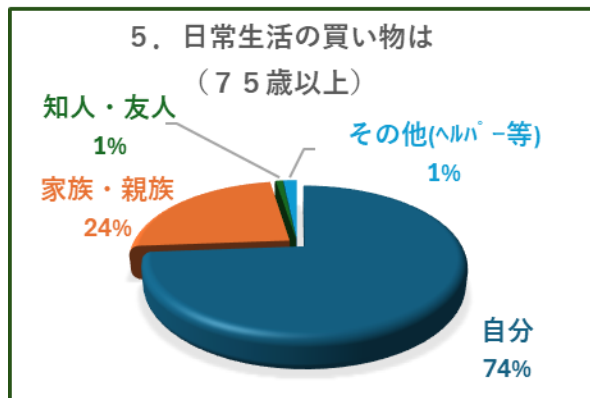


- ①町内行事（お祭り、子ども会、老人会、運動会、クリスマス会、餅つきなど）
- ②ラジオ体操、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ボッチャ、歩こう会など
- ③囲碁、将棋、麻雀、カラオケ
- ④茶話会（サロン）
- ⑤パソコン・スマホ指導
- ⑥子育てサロン、子ども食堂、子どもの短期預かりなど
- ⑦その他

アンケート記入者の年齢層別集計結果 1 (八幡町内会用紙回答は除く)

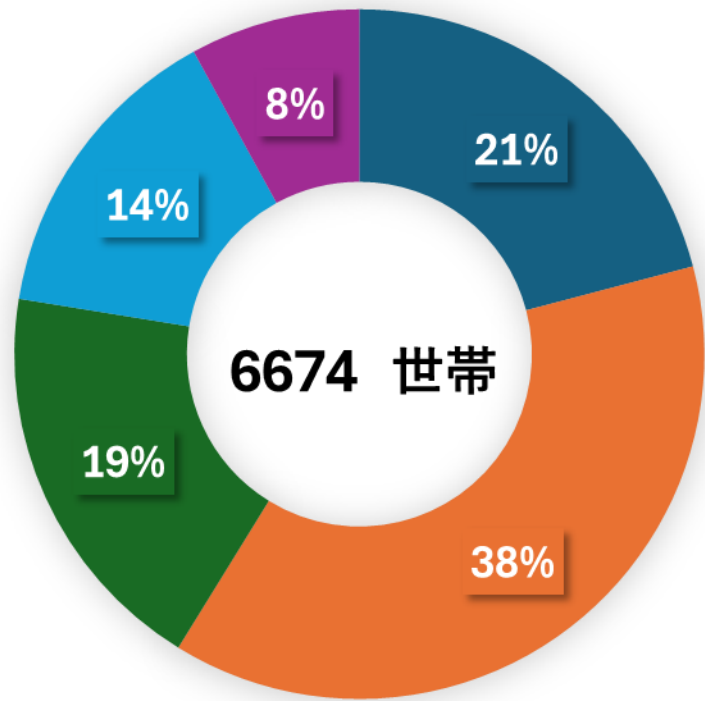


アンケート記入者の年齢層別集計結果 2 (八幡町内会用紙回答は除く)



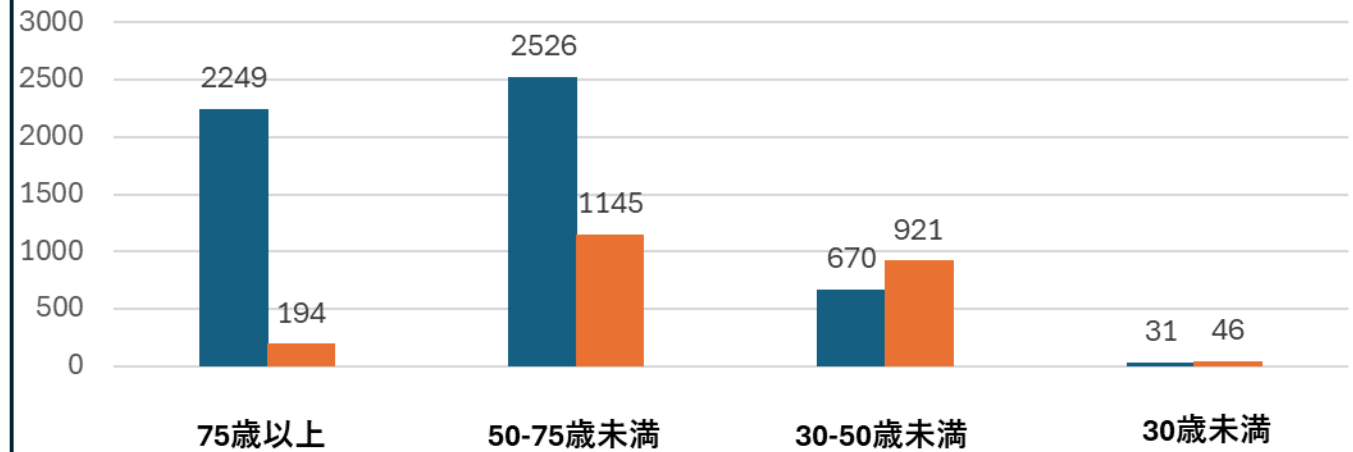
回答アンケートから確認できる世帯人数推移と回答方法の推移

世帯人数推移 (八幡町内会用紙除く)

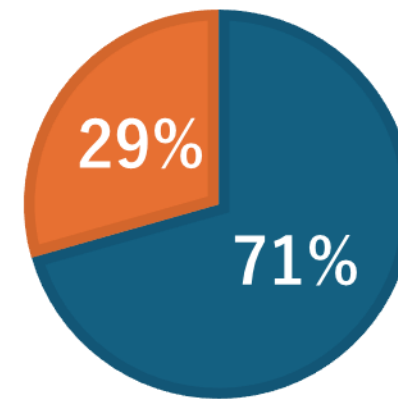


- 1人暮らし
- 2人暮らし
- 3人暮らし
- 4人暮らし
- 5人暮らし以上

紙 & QRコード回答別グラフ



■ 用紙による回答 ■ QRコードによる回答



■ 用紙による回答 ■ QRコードによる回答

全体の自由記載欄は（施策別意見数）として分類

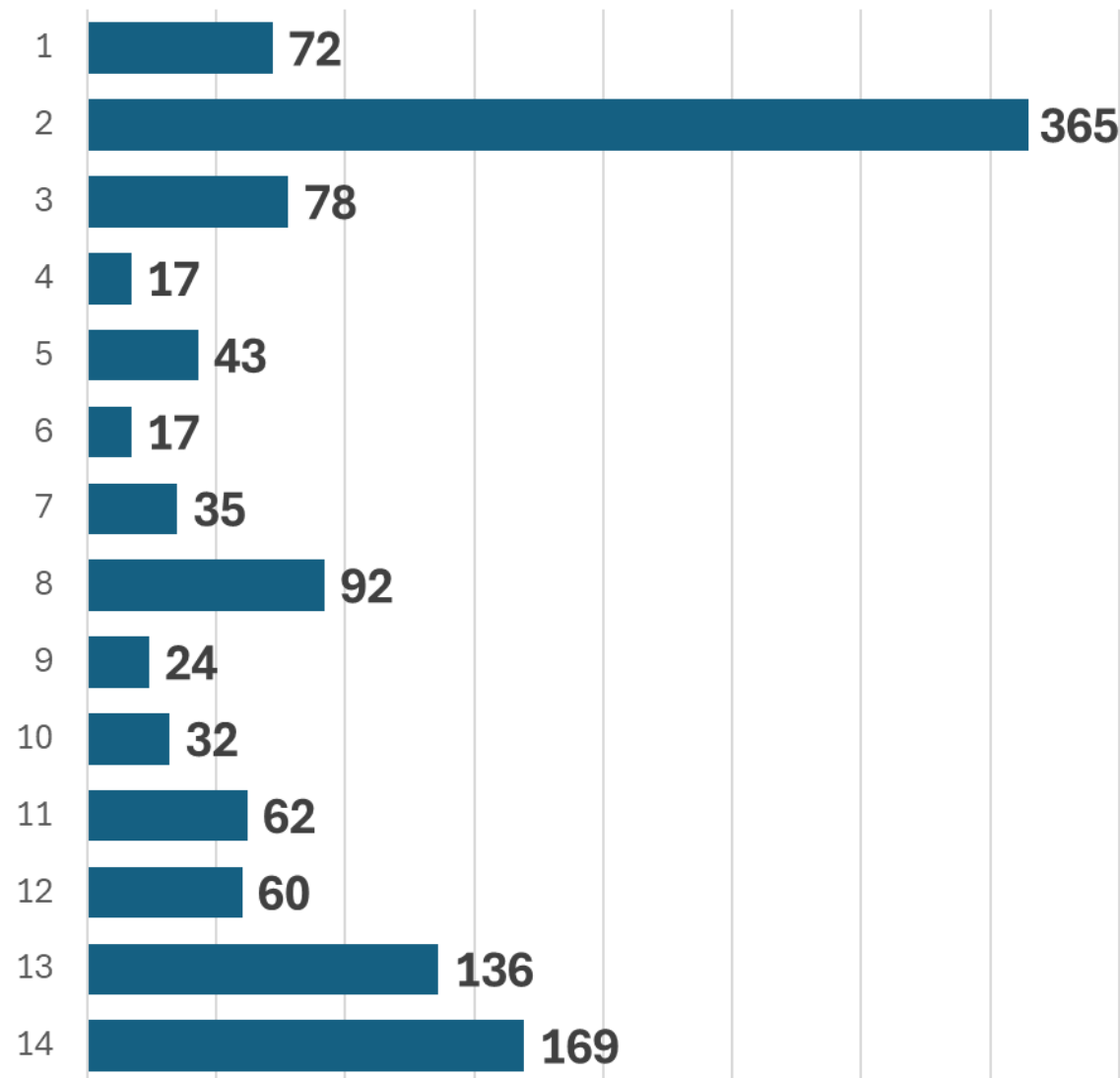
町内会 NO	町内会名	自動連番	自由記載欄
1	八幡町内会	1Q8	町内会での活動に興味はありますが、町内会の役員や組長等をやることにとても抵抗があります。仕事や体調面で不安がある人もいます。持ち回りだったり、やらないといけなような強制的なものではなく、やれる人が行い、集約すべきもの等はデ
1	八幡町内会	1Q33	会
1	八幡町内会		
1	八幡町内会		時頼れたのは近所
1			
1			
1			
1	八幡町内会		で、地域

自由記載欄は
各町内会・自治会のデータのみ
記載されてます。

全体の自由記載欄は施策別意見数を参照ください
次ページ

8. 自由記載欄の分類（施策別意見）の件数

	自由記載欄の施策別意見数	件数	%
1	行政への期待	72	6%
2	町内会・自治会活動	365	30%
3	ゴミ処理トラブル	78	6%
4	緊急時の対応	17	1%
5	災害発生時の取り組み	43	4%
6	買物支援	17	1%
7	近隣とのトラブル	35	3%
8	ボランティア全般	92	8%
9	子育て支援	24	2%
10	介護全般	32	3%
11	交通（移動手段）全般	62	5%
12	環境保全活動	60	5%
13	感謝・お礼	136	11%
14	その他	169	14%

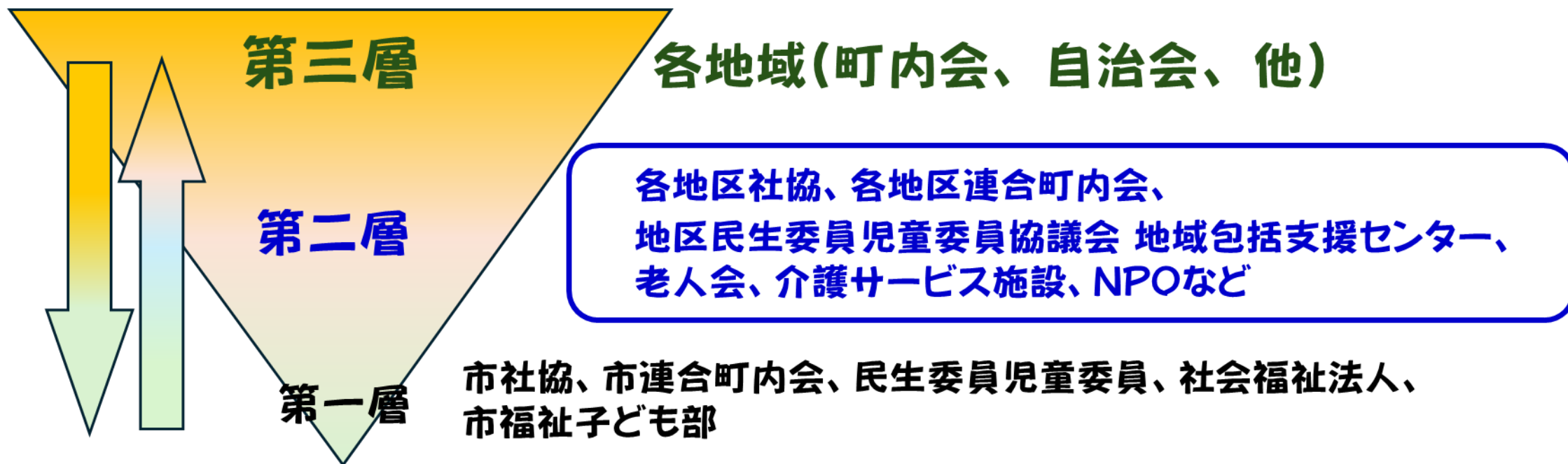


横須賀（久里浜地域の支え合いについて）

横須賀地域支え合い資料より

○横須賀市の支え合い協議会

高齢者を支援する様々な関係者が参加し、協力体制を築きながら、高齢者を支えるサービスの提供体制を整え、地域の支え合い体制を構築していくことを目的とする協議体



○「久里浜地域支え合い協議会」の設立(第二層)

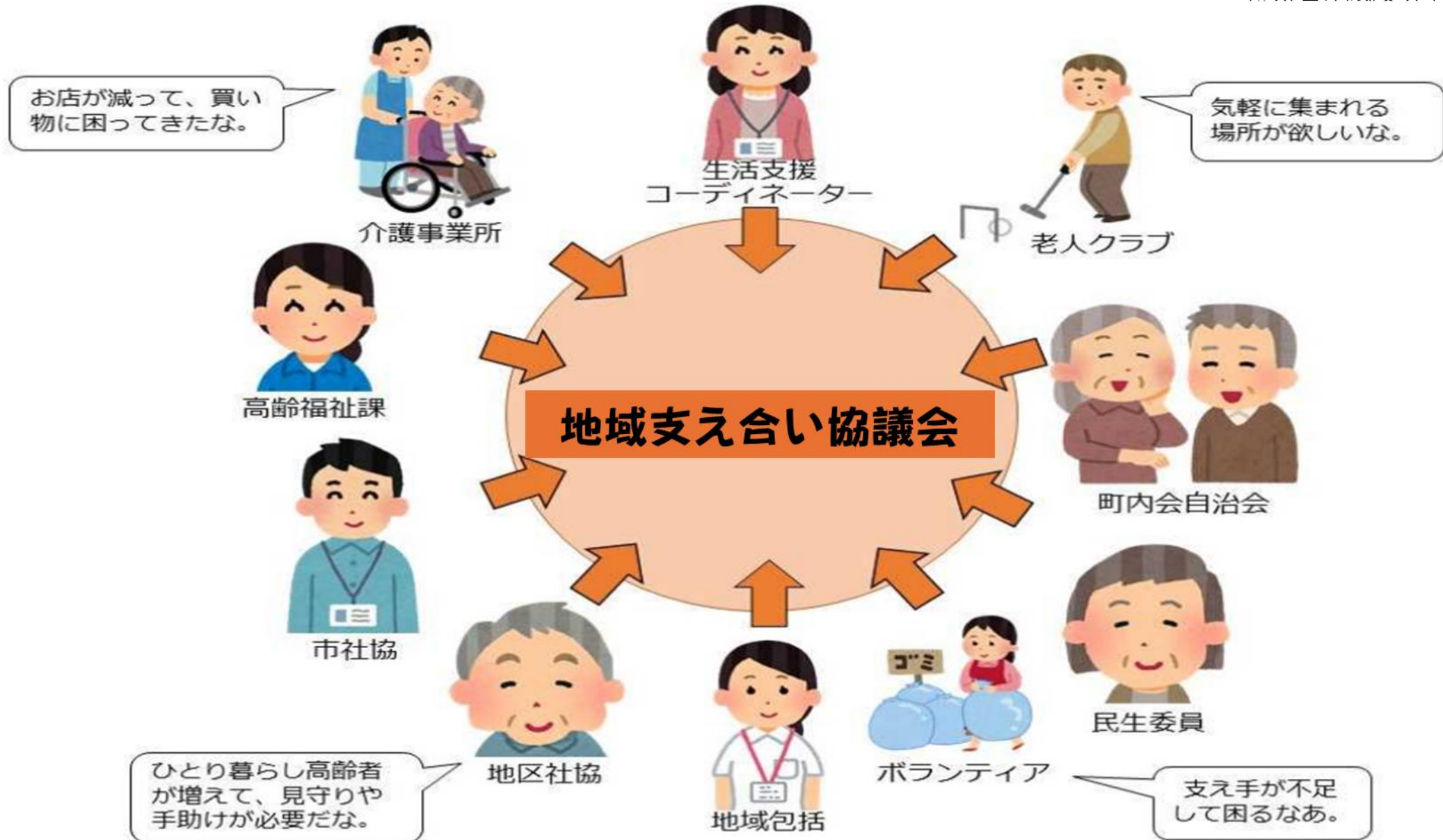
(1) 設立:令和元年4月1日

(2) 構成員:連合町内会、民生委員児童委員、久里浜地区社会福祉協議会、市福祉こども部、久里浜行政センター、市社会福祉協議会、久里浜地域包括支援センター、老人クラブの代表

協議体は何するところ？①

地域の困り事や素晴らしい活動を出し合う場

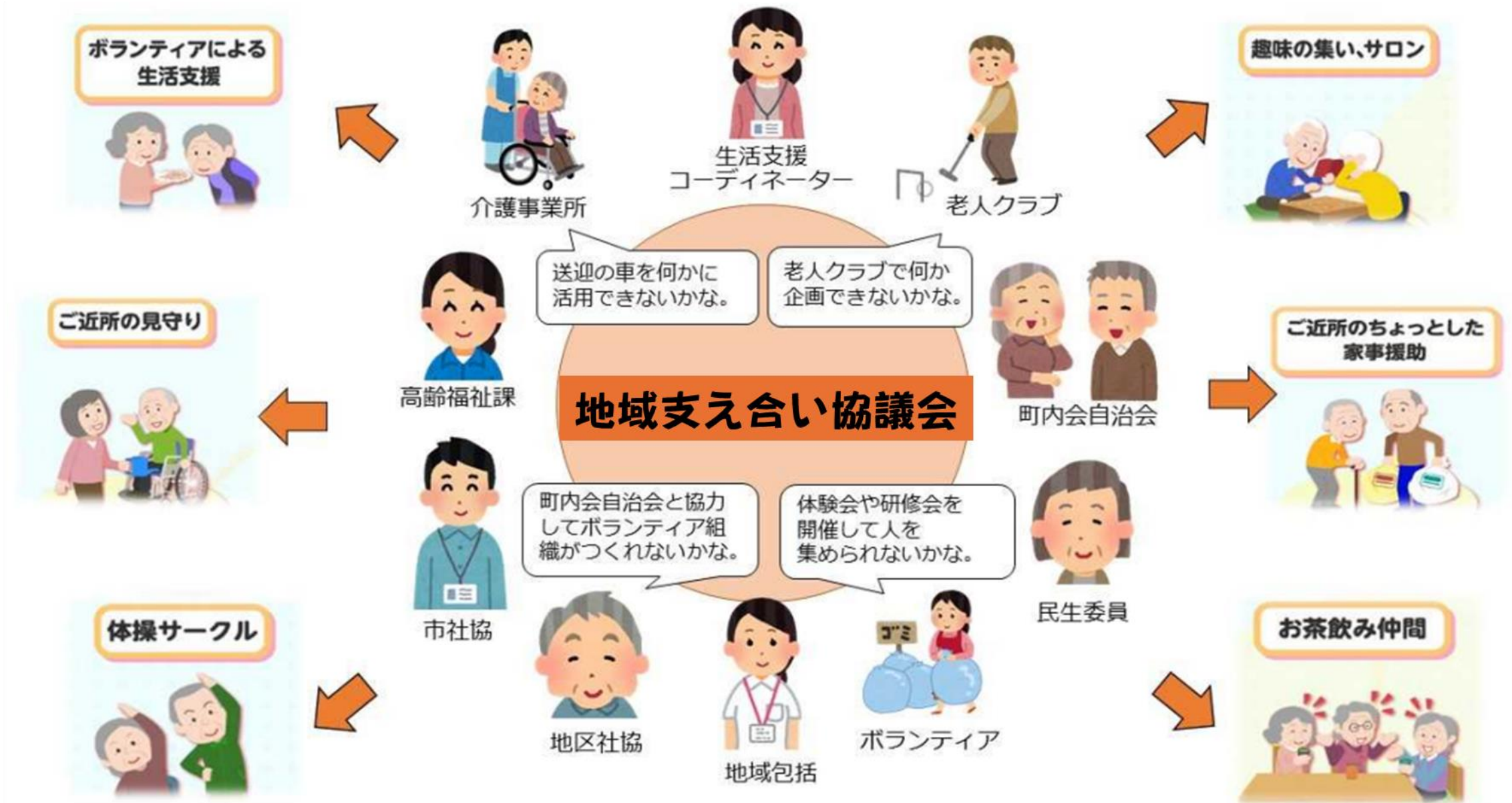
横須賀地域支え合い資料より



協議体は何するところ？②

出来るところを探す場、協力体制をつくる場

横須賀地域支え合い資料より

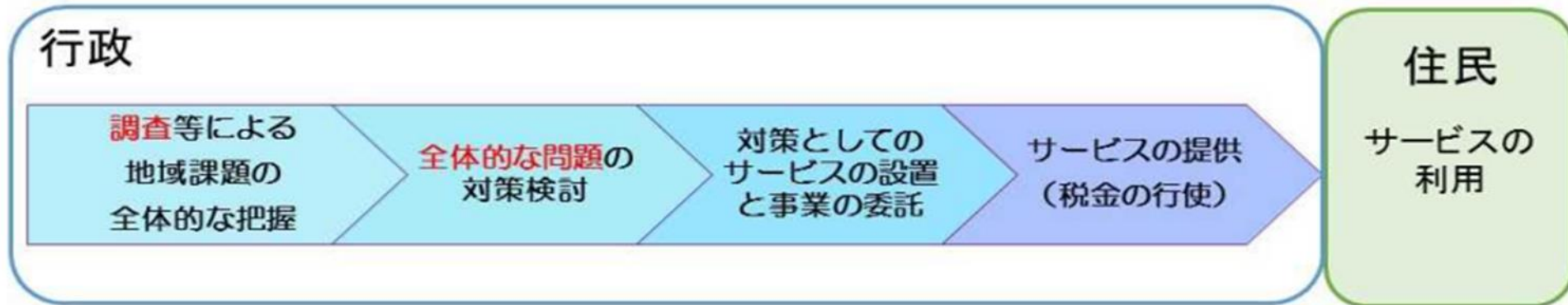


国（行政）は何を求めているか

横須賀地域支え合い資料より

旧来型からの意識改革（行政、市民）

今までのやり方



新しい仕組みによるやり方



久里浜地域支え合い協議会 構成員名簿

(令和 6 年(2024年) 4月1日、順不同、敬称略)

職 務	氏 名	機関名 所属 役職名
座 長	吉川 勝彦	久里浜地区社会福祉協議会会長
	鯨澤 照代	久里浜地区社会福祉協議会事務局長
	伊東 忠昭	久里浜地区社会福祉協議会常任理事
	小川 喜久雄	横須賀市連合町内会会長 久里浜地区連合町内会会長
	加藤 光子	久里浜第一地区民生委員児童委員協議会会長
会 計	君島 富美江	久里浜第二地区民生委員児童委員協議会会長
	臼井 英勝	横須賀市老人クラブ連合会副会長兼事務局長
	瀧澤 陽平	久里浜地域包括支援センター管理者
事務局	金子 淳子	久里浜地域包括支援センター社会福祉士 生活支援コーディネーター
オブザーバー	松尾 健一	横須賀市社会福祉協議会 事務局次長 兼 地域福祉課 課長
オブザーバー	小島 美保	横須賀市社会福祉協議会ボランティアセンター
オブザーバー	樋口 則之	横須賀市 民生局 地域支援部 久里浜行政センター館長
オブザーバー	齋藤 佳利	横須賀市 民生局地域支援部 久里浜行政センター 地域生活相談担当
オブザーバー	小松原 優斗	横須賀市 民生局 福祉こども部 福祉総務課 地域力推進係 第一層生活支援コーディネーター

(協力関係機関：横須賀市経営企画部 デジタル・ガバメント推進室 推進担当 村田 遼馬)

これからの時代 一少子高齢化と人口減少の進行一



人生 100 歳時代が到来します。生活にちょっとした困りごとがでてきた高齢者も 障害を持つ人もそして子どもも、「**自分たちができることを見つけ取り組む**」ことが地域の未来を明るくするのではないのでしょうか。

地域住民のみならず、多様な主体（事業所、商店、施設、学校など）今までの概念を超えた全ての社会資源（人・モノ・技術・知恵）がつながり、そして実践する「**助け合い・支え合い**」の創出です。

END